

人妻淫獄

～強制的に調教開発されるカラダ～



6

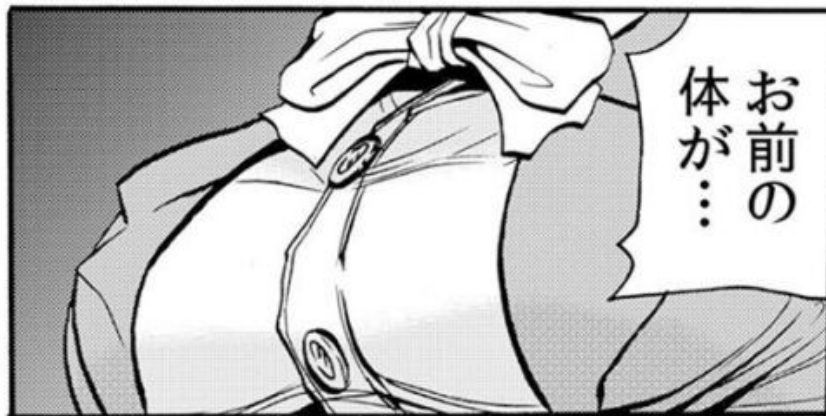
PRESENTED BY
断華ナオキ



檻の中に
いる間も…



お前の
体が…



脳裏に
焼き
付いて…



消えない
んだよ!!



どれだけ
自分の手で
慰めても…



満たされ
ないん
だよ…!!

何発
出した
ところで
……

むなし
い
だけなん
だよ…!!





だから今は
最高の気分だ
……!!

夢に見続けた
この……



あああ
ふああ……あ

せ……
せんせえ……



そんなに……
いい……ん
ですか

わたしの……
コ……コ……



お前の
マ●コ
につ!!

どれだけでも
なかだし
膣内射精できる
のだからな!!

ああ
最高だぞ…



どれだけ
子宮に精液を
注ぎ込んでも
足りはしない…

手で慰める
のとは…

別の渴きが
襲ってくる
…!!



この柔らかい
肉の絡みつき
が…



何度
射精しても



チ●コを
萎えさせて
くれん…!!

おかしく
なるんだよ
…

お前の
体は…!!







あ……あ……
わか……る
……う……



せんせえ……の
熱いのが……

おなかの中に……
たくさん……
はいつてくる……
う……う

ほおら……

見てみる
田村……

これだけ
射精しても
……

ガッ

ガッ

全然萎えて
いかない
だろう……？

は……はい
本当……だ……



す……
す……い……
せんせえ……え

先生はなあ……
この体を
求めて

ガッ

檻から出たあとも
お前を探して
回ったんだぞ……!!











な…なにが
どうなつて
る!!

説明しろ!!
宮下!!

ああ先生には
言つてません
でしたね

結婚してるん
です僕達

今彼女は
田村沙耶華
じゃなく

宮下沙耶華です

沙耶華に

昔の僕の事を
話しても
ムダですよ

あの頃の
僕の事など

認識すら
してないはず

沙耶華の
青春時代の
思い出に

僕は影ですら
存在してない
でしょう







そして
気付いたんだ

僕は君が…
他の男に犯され
汚され…



あ…

あ…



泣き叫び
感じて

よがり狂う姿が
好きだったん
だよ



さあ
見せてよ
沙耶華…

君の
いじきたない
姿を…



あ…あなた…
何を言って…

う…
嘘よね…?
ね…ねえ…





ほれ!!愛しの
ダンナ様は



お前の
犯されてる姿を
見たいらしいぞ!!

たつぷり
見せてやろう
じゃないか



先生と田村が
繋がってる
姿を!!

い...や...
あ...あ



あ...な...た...
こんなの...

みない...で
...おねが...い



う...あ...あ
あ...ぐ...あ...









田村あつ

さつきは先生の
モノになるって
約束したよなあ!!



ひあ…っ
う…そ…

じゃ…な…い
です…う…う



それとも
アレは

ひぎあ
うああつ

嘘だつたのか!?
ああ!?



いいや
嘘だな!!

その場限りの
口から出まかせ
だな!!







毎日のように
君の姿を探した



まあ歪んだ
恋心だった
わけだ…

でも
あの日から…

君を見る目が
変わった…



あの日…!?

…そう…



下山に



処女を
奪われたのを
目撃してから…







すごく
興奮したよ…

でもね…
もつともつと
見たくなつて…

君の昔を
なぞらえて

色々
やらせたね…

ぜ…っ
ぜんぶ…
あなたが…？

全…部…
知って…
たの…？

そ…んな…っ
ひ…ど…い…

拉致されたりと
イレギュラーも
あったけどね

…ああ…
あれはあれで
興奮したよ…

いや…

いやあ…あ













こいつは
お前を

快樂の対象
としか
見ちゃいない

むろん
愛してなど
いない……

今まで散々
ひどい目に
あわされたん
だろう？

それでも
お前を救って
くれないんだ

お前の事なんか
どうでも
いいんだよ



そうだ
教えてやろうか
田村



こいつの
昔の姿を

こいつは
なあ

おい
やめろ!!



それはそれは
ブサイクでなあ

あだ名は
なんだっけ

“バイ菌”
だったか?



こんな
クズでも
自分の過去は

知られたく
ないようだなあ
滑稽なことだ



……っ!!



成績は下の中
運動は下の下

友達も
いなければ
もちろん
カノジヨも
いない

水泳部の
部室から

お前の
下着を
盗んだり

俺は知って
たんだよ

下校中の
お前の

後を
つけたり

この
バイ菌が

田村のことを
ストーカー
してたのを

だから

あの日

見せつけて
やったんだよ



この女が



誰のもの
なのかを

う……う……

そ……
んな……

……



それから
毎回

燃え尽きる

のぞいて
たよな宮下



ロッカーに
隠れてたりも
したな

宮下あ…

下山…っ

お前…っ

だから
何度も

サービスして
やっтарろう？

少しでも
田村の匂いが
わかるよう

サルみたい
にシユったん
だろ？

バイ菌君？

近くでやって
やっтарろ？





この卑猥な
音を聞け!!



わかる
だろう!?

お前のモノ
なんかじゃ
ない!!



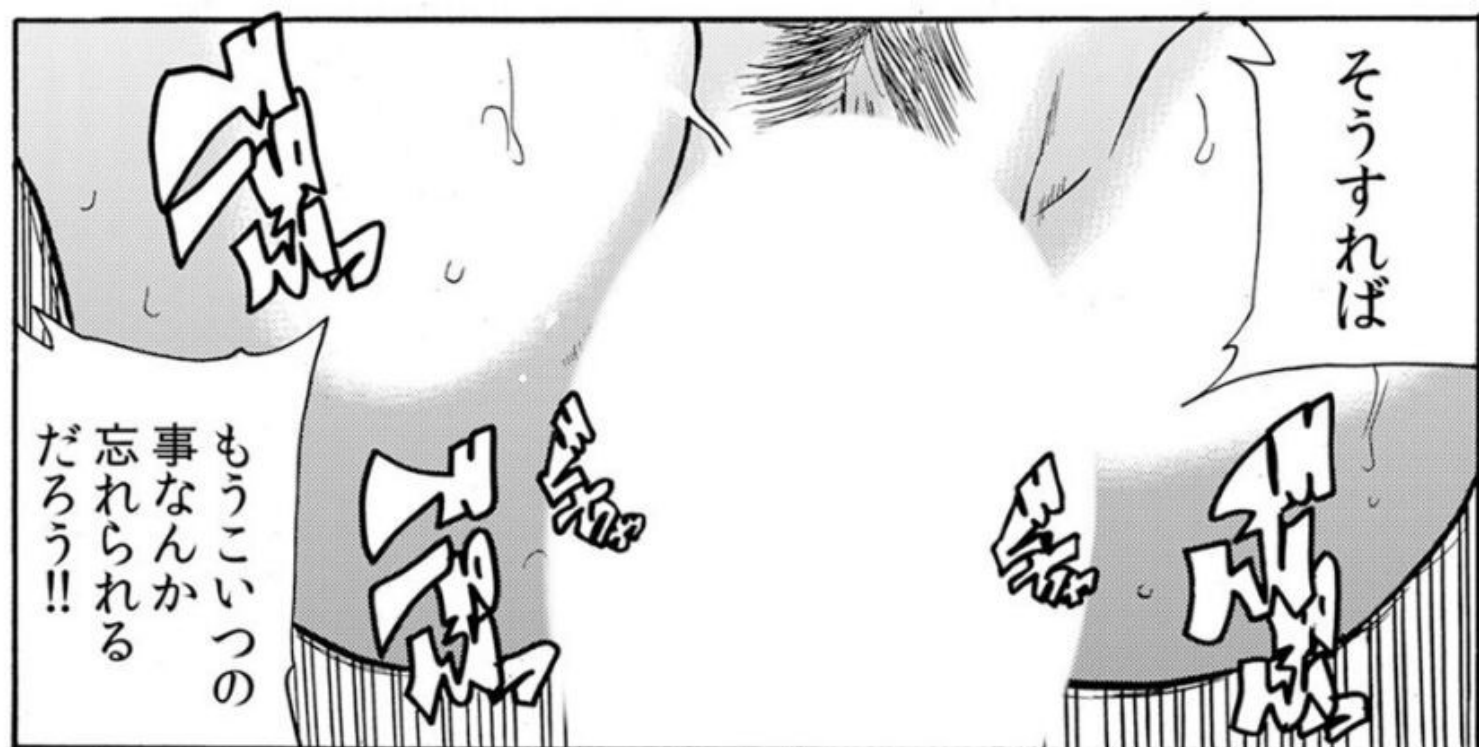
見ろ!!
この女は!!

俺のチ●ポが
一番なんだよ!!



この
女は

俺の所有物
なんだよ!!









なんで
お前が…



な…
下山…!!



何度か
お前の家に
行ったなあ
中嶋あ…

田村にフラれて
おかしくなつて
学校に来なく
なつて……



久しぶり
だなあ
中嶋あ…

ずいぶん
見違えたなあ
ククク……



なにしてる
下山あ…

さやから
手を離せ!!









な…
なんだと…？

お前に
指図される
覚えは…!!

いいから
やれつての

田村が
欲しいん
だろ？

なら…

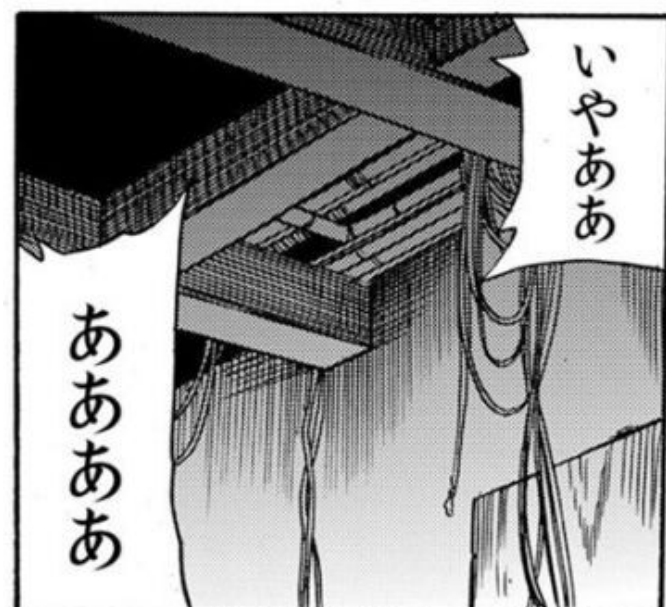
さっさと
やるんだな!!

……

……

これで
いいのか…？













あの日
初めて
すれ違って…

お前の
匂いを嗅いだ
瞬間から…

自分を
抑えられ
なくなった…

お前を
犯したい…と

お前に
出会わなきゃ

俺もまともな
人生だったの
かもな…

先生
まで…

何を…!?

いいや
そうだ…

その
通りだ…

だから
お前は…

俺達の
人生を狂わせた
代償として…







乱暴に
されて…



ずっと
こんな風に…



だから
私は…

あなたを
こんなに
愛したのね…



優しく抱いで
くれたのは



あなただけ
だった…



ああ…

あなた…



お前は
もう
ずっと

俺達のもの
なんだよ!!



まだあの男の
事が頭に
あるのか!?

いい加減に
忘れて
しまえ!!



いいわ…
あげる…

体は全部…
あげるわ…



フ…

フフ…

